

枚方市 まちづくりワークショップだより

第3回

2014年2月
発行

平成26年2月9日（日）に、第5次枚方市総合計画の策定に向けて、「第3回枚方市まちづくりワークショップ」を開催しました。

第3回は市民等23名の参加で、4つの班に分かれて「安全・安心に暮らすために」をテーマに話し合い、様々な意見・提案が出されました。

【当日の流れ】

- ◇前回のワークショップだよりの確認
- ◇ワークショップの進め方の説明
- ◇ワークショップ（班別）
 - テーマ「安全・安心に暮らすために」
 - ・班ごとに意見を出し合う
 - ・各班の発表を行い、全体で共有する
- ◇今後の進め方の確認



※左からA班、B班、C班、D班のワークショップのようす

各班から出された主な意見【 テーマ「安全・安心に暮らすために」 】

○「災害に強いまち」に

災害に強くなるべきとの意見が多く、医薬品などの備蓄対策や迅速な緊急情報の発信のほか、地域では避難訓練を繰り返し行うとともに、日頃から人づきあいを深めることが重要との意見がありました。

○「安全に歩けるまち」に

安全に歩き、自転車に乗れるよう、歩道・自転車道の整備等による歩車分離を強化すべきとの意見が多くありました。整備には行政が現場を十分に知り、優先順位をつけながら行うべきとの意見がありました。

○「犯罪の少ないまち」に

防犯の強化に関する意見が共通して出され、夜間の安全やネット犯罪などの防止に向けて、街灯・防犯灯の充実、行政からの情報発信のほか、住民間のつきあいが大切との意見が出されました。

○「コミュニケーション」の充実を

～ 人づきあい・コミュニティの強化が大切 ～

全班に共通して、安全・安心に暮らすためには、「コミュニケーション」による人づきあいが欠かせず、互いに協力し合えるコミュニティづくりが重要との意見が出されました。

また、コミュニケーションについては市民間のほか、行政間、市民と行政との間の意思疎通が必要で、それが、自助、共助、公助の切れ目ないネットワークにつながるとの意見がありました。

○「わかりやすくタイムリーな情報発信」を

行政からの災害・犯罪などに関する情報については、市民が分かりやすく、よりタイムリーに発信することが必要との意見が出されました。

次のページより、各班（A～D班）で出された意見・提案内容の詳細です。

A 班

テーマ『安全・安心に暮らすために』

こうなったらいいな	そのために必要なこと
<div data-bbox="165 286 434 367" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">歩道の整備されたまち</div> <div data-bbox="165 383 434 434" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">道路の整備</div>	<p>○道路整備等、関係機関と調整し予算を重点的につける</p> <ul style="list-style-type: none"> *安心して歩ける、人に優しい道路の整備 *何十年と危険な道路や整備状況の悪い道路の整備 *国道1号や府道京都守口線の整備 *予算の重点化には数値による評価が大切
<div data-bbox="165 488 434 568" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">犯罪の少ないまち</div> <div data-bbox="165 584 434 665" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">街灯と門灯による防犯のまち</div> <div data-bbox="165 913 434 994" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">協働の活動が実感できるまち</div>	<p>○地区のコミュニティづくりの強化</p> <ul style="list-style-type: none"> *地域活動に地域差があり、自治会の加入状況や私学通学者の増加による校区意識の希薄化などが、参加者減少の要因と考えられる <p>○防犯灯と各家庭の門灯による明るいまちを防犯につなげる</p> <ul style="list-style-type: none"> *防犯灯のLED化 *一方で、家の間際にある防犯灯が明るすぎるという声も <p>○顔の見えるコミュニケーション</p> <p style="text-align: center;">行政と行政 市民と市民 のコミュニケーションが大切 市民と行政</p> <ul style="list-style-type: none"> *行政間の意思疎通の強化 *何ができないか、なぜできないかをしっかりと伝える（理由がわかれば納得できる） <p>○「行政と市民が一体となってまちを守っている」ことが実感できる取り組み</p>
<div data-bbox="165 1039 434 1090" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">自助・共助のまち</div> <p data-bbox="165 1099 434 1205">*1人1人が自分のことに責任を持てるようになる（行政や他人のせいにならない）</p>	<p>○まちのステーション（小さな防災拠点の設置）</p> <ul style="list-style-type: none"> *交番・郵便局など（誰かがいる場所）に資機材（AEDやスコップなど）を設置
<div data-bbox="165 1249 434 1330" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">優先順位が明確なまちづくり</div>	<p>○生活環境を数値化した評価システム</p> <ul style="list-style-type: none"> *歩道の整備率や犯罪件数などの数値を元に評価し、PDCAサイクル化を実施 *行政が現場を知るマーケティング力の強化 *行政はビジネス的に考えることが必要（「どうすれば売れるか」というハングリーさ）
<div data-bbox="280 1429 434 1473" style="border: 1px solid black; padding: 2px; background-color: #333; color: white;">共通項目</div>	<p>○行政がもっと現場を知った上で対応</p>

話し合いの要点

- こうなったらいいと思うことでは、「歩道・道路の整備されたまち」「犯罪の少ないまち・街灯と門灯による防犯のまち・協働の活動が実感できるまち」「自助・共助のまち」「優先順位が明確なまちづくり」があげられた。
- 歩道・道路の整備に向けては、行政機関同士など関係機関と調整した上で整備のための予算を重点的につける必要があり、また、そのためには行政がより現場を把握することが重要との意見があった。
- 犯罪が少ないまちに向けては、街灯と門灯で防犯を充実させることや、地区のコミュニティづくりの強化、顔の見えるコミュニケーション（市民間、行政間、市民と行政）により、互いに納得できる意思疎通を行い、協働の活動が実感できるまちとなることが必要との意見が出された。
- 自助・共助のまちに向けては、市民個々が責任を持つことが大切との意見があった。交番や郵便局など誰かがいる場所を「まちのステーション」（AEDやスコップを置く防災拠点）として活用すべきとの提案も出された。
- 安全安心の取り組みについては、生活環境を数値化した評価システムにより、優先順位を明確にすることが必要で、全ての取り組みに共通して、行政が現場を知った上で対応していく必要があるとまとまった。

B 班

テーマ『安全・安心に暮らすために』

こうなったらいいな	そのために必要なこと	
	行政 ← (担い手) → 市民・地域	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">災害時の対策・備えの強化</div> <p>*災害時、逃げ遅れのないまち</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">○医薬品の巨大備蓄</div> <p>*医薬品を指定して市が管理する *個、地域、市、国の役割分担</p>	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">事故ゼロ</div> <p>*事故、災害、事件がゼロになるまち</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">○情報のデジタル化</div> <p>*消防無線のデジタル化を早期に実施</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">○個々のゆとりある生活</div> <p>*鍵の閉め忘れがない *お金があれば悪いことをしない</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">救急・医療体制の充実</div> <p>*救急のたらい回し根絶</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">○病院の受け入れ体制の充実</div> <p>*三次病院を備えている市の行政指導</p>	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">交通環境の整備</div> <p>*安全に歩けるまち *自転車に安全に乗れるまち</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">○ご近所、自分の生活に関心をもつ</div> <p>*今までは黙っていても安全安心だったが、安全安心は求めていくもの *何かしてくれるではなく、自分が人に貢献する（自治会・子ども会） *若い人に意見を出してもらって交流する仕掛け（若い人たちの得意分野で）</p>	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">防犯・防災のコミュニケーション</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">○個人レベルで通じ合えるサイトづくり</div> <p>*自治会との関与がなくても生活ができる</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">○安全な水の確保</div> <p>*古い水道管の更新</p>	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">食の安全</div> <p>*学校給食に地元の新鮮な野菜を供給 *良き住環境を創出する「農業」を守り振興させるまち</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">○地産地消、「農」の振興</div> <p>*「枚方市農業公社」の設立検討</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">○子どもへの食育の充実</div> <p>*農業に関する一貫した教育 *遊び感覚で農業体験（生産から食まで） *旬の美味しいものを食べることから</p>	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">共通項目</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">○人を中心とした制度にする</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">○安全安心の情報管理・発信</div> <p>*市の発信する情報は安心なので、よりタイムリーに発信</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">○インフラ整備</div> <p>*お金がかかるので、ステップを踏んで優先順位をつけて進める *発想は民、財源は官で</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px; width: 50%; float: right;">○市民の意識改革</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px; width: 50%; float: right;">○自助・共助・公助の切れ目ないネットワークづくり</div> <p>*コミュニケーションが大切 *行政による押し付けではなく、市民の声を十分に聞きながら</p>	

話し合いの要点

- こうなったらいいと思うことでは、「災害時の対策・備えの強化」「事故ゼロ」「救急・医療体制の充実」「交通環境の整備」「防犯・防災のコミュニケーション」「食の安全」の6つがあげられた。
- 災害時の備えについては、災害時に薬がなくならないよう、「医薬品の巨大備蓄」が必要との意見があった。
- 事故ゼロのためには、消防無線デジタル化の早期実施や、市民個々がゆとりのある生活を送ることが大切との意見が出された。
- 防犯・防災では個人レベルで通じ合えるサイトなど情報を受ける仕組みが必要との意見があった。また、市民として安全安心を求めていく必要があり、近所や自分の生活に関心を持つことが大切との意見があった。
- 食の安全を確保するためには、地産地消、農の振興が大切で、子どもの農業体験や旬のものを食べることなど食育の充実が必要との意見が出された。
- 総括として、行政は「人を中心とした制度」を実施し、「安全安心の情報管理・発信」、優先順位をつけた「インフラ整備」を中心に担い、市民・地域においては安全安心に暮らすための「意識改革」が必要であり、相互に「自助・共助・公助の切れ目ないネットワークをつくること」が重要とまとまった。

C 班

テーマ『安全・安心に暮らすために』

こうなったらいいな	そのために必要なこと
交通安全なまち *交通事故を減らしたい *車と歩行者と自転車がぶつかる道が多い	○歩車分離（自転車の通行区分） *自転車と人との交錯対策 *自転車専用道路や自転車通行禁止エリアの設定。「No 自転車 Day」設定等 ○自転車の運転マナーの向上
犯罪のないまち	○住民間のつきあいをよくする *犯罪をなくすには、犯罪者を出さないことが必要 ○地域全体での治安の取り組み
コミュニティ協議会の活動の差がないまち	○コミュニティ協議会の構成員をいろんな人から募る ○世代交代が必要 *若い女性（主婦層）の参加が必要だが、若い人は働いているため時間がなく、コミュニティに参加しづらいのが課題。また、人の少ない校区はどうするか。若い人も参加できる仕組みが必要だが、例えば若い層に子育て支援の情報が届いてないのが課題
公園がきれいでつどいの場となるまち *公園などの公衆トイレをきれいに	○緑化が重要（予算・内容） *花と緑のまちの実現においても、緑化に予算を付けるなどの重点化が必要 ○公園清掃の回数増加
单身者も安心して暮らせるまち *特に夜間や休日	○地域や公共とつながりができる支援 ○地域ごとの防災マップを作って配布 *防災マップを作成し、地域とのつながりが希薄な单身者に配布
食の安全なまち	○検査体制の充実 *中核市移行に伴う保健所の設置を踏まえて
子どもが安全に暮らせるまち	○警察による夜間の子どもの見守り ○街灯の設置
防災意識が高いまち	○災害に応じた対策の実施 *地震と水害に応じた避難所の設置 ○市全体での防災フォーラムの実施 *枚方市主催で校区コミュニティ全体と協力した防災フォーラムの実施
共通項目 地域全体で協力し合える安全安心な環境	○安全・安心な環境には、いかにコミュニティをつくるかが重要

話し合いの要点

- こうなったらいいと思うことでは、「交通安全なまち」「犯罪のないまち」「コミュニティ協議会の活動の差がないまち」「公園がきれいでつどいの場となるまち」「单身者も安心して暮らせるまち」「食の安全なまち」「子どもが安全に暮らせるまち」「防災意識が高いまち」があげられた。
- 交通の安全に向けては、歩車分離（車と自転車と歩行者との交錯対策）が必要との意見が出され、自転車の専用道路や通行禁止エリアの設定などの提案があった。
- 犯罪をなくすためには、住民間のつきあいを大切に地域で治安の取り組みを行う必要があるとの意見が出された。地域のコミュニティ協議会の活動の差をなくすためにも、世代交代が重要であり、若い人が参加するための仕組みが必要との意見があった。
- 防災意識の高いまちに向けては、地震や水害など災害に応じた避難対策を行うことや、单身者も安心できるような地域や公共とのつながりを支援すべきとの意見が出された。
- 全ての取り組みに共通して言えることとして、「地域全体で協力し合って安全安心な環境をつくっていくこと」が重要だとまとまった。

D 班

テーマ『安全・安心に暮らすために』

こうなったらいいな	そのために必要なこと
<p>災害に強い、非常事態に強いまち</p> <p>*行政と市民が協働で災害に強い枚方をつくる *ライフラインの確保 *災害時に淀川舟運活用</p>	<p>○緊急情報を伝わりやすく *市民に災害情報を早く知らせる（行政間の連絡） *行政からの情報発信を分かりやすく *観光マップが防災マップにつながるように *エフエムひらかたを広く活用（災害情報）</p> <p>○避難訓練などを繰り返し実施</p> <p>○「自助」「共助」「公助」意識の徹底 *地域の行事を増やす（自助・共助・公助が進む）</p> <p>○人づきあいの強化・コミュニティづくり</p>
<p>夜間に安全に歩けるまち</p>	<p>○街灯の増設、防犯灯のLED化 *地球温暖化防止のために防犯灯をLED化 *自治会で防犯灯の整備、維持管理</p>
<p>ネット犯罪、詐欺などにあいにくいまち</p>	<p>○行政からの情報を分かりやすく</p> <p>○人づきあいの強化、コミュニティづくり</p> <p>○さまざまな相談がしやすい窓口、システムづくり *相談窓口をはっきりさせる *自治会役員が相談の一次窓口</p>
<p>安全に歩ける、自転車に乗れるまち</p> <p>*日本一歩きやすいまち</p>	<p>○人間優先の道路づくり</p> <p>○道路の環境整備 *歩道の整備、バリアフリー化、歩道と車道の境界に柵などを設置 *ルールを守れる環境づくり、歩いていて楽しい道づくり *枚方八景など歩いて回れるように観光マップづくり</p> <p>○自転車道を都市計画へ位置づけ *自転車で安全に通行できるマップづくり</p> <p>○交通ルール講習会を繰り返し実施 *自転車のルールの徹底、講習会の開催、子ども・大人・高齢者が同時に学ぶ *不法駐車をなくす</p>
<p>共通項目</p>	<p>○防災、交通ルール、繰り返しの訓練（忘れないために） *避難訓練や交通講習会などを繰り返し開催</p> <p>○市民に分かりやすい広報 *行政の計画立案は市民にとってわかりにくい *市の広報は文字が多くて見にくいいため、文字量の削減、イラスト・写真の活用、カラー化など、見てもらうための工夫が必要（有料でも見やすい広報紙） *歩行者が目にするような掲示板や電光掲示板の設置</p> <p>○行政、市民、企業の協働が大切 *とりあえず行政（市）がリードを</p> <p>○人づきあいの強化、コミュニティづくり *地域のコミュニティ力を高める *自治会活動を活発に *見通しのよいまち（ご近所の顔が見える仕組みづくり）</p>

話し合いの要点

- こうなったらいいと思うことでは、「災害に強い、非常事態に強いまち」「夜間に安全に歩けるまち」「ネット犯罪、詐欺などにあいにくいまち」「安全に歩ける、自転車に乗れるまち」の4つがあげられた。
- 災害に強く、非常事態に強いまちにするためには、緊急情報がすばやく伝わるようにすることや、避難訓練を繰り返し行うこと、人づきあいの強化などが必要との意見があった。
- 夜間に安全に歩けるまちに向けては、街灯や環境に配慮したLED防犯灯をつけるべきとの意見があった。
- ネット犯罪や詐欺などへの対策については、市民に分かりやすく情報提供することや、人づきあいの強化のほか、様々な相談ができる窓口をつくることなどが必要との意見が出された。
- 安全に歩ける、自転車に乗れるまちにするためには、歩道や自転車道の整備など人間優先の道路づくりを行うことや、交通ルール講習会を繰り返し行うべきなどの意見があった。
- 全ての取り組みに共通して、「防災や交通ルールの繰り返しの訓練」「市民への分かりやすい広報」「行政、市民、企業の協働」「人づきあい、コミュニティの強化」が重要との意見でまとまった。



※上段左からA班、B班、下段左からC班、D班のワークショップの発表内容

ふりかえりシートより

主な意見・感想を紹介します。

【意見・感想】

- 防災に関していろいろな意見が出し合えた。
- 以前、今回の安全・安心というテーマに取り組んだことがあったので、分かりやすく楽しく取り組めた。
- 進め方に慣れてきたので自分の意見を出せるようになり、グループ内のまとめまでの進行がスムーズにできた。
- メンバーが変わり、いろいろな角度から多様な意見や考え方があって大変参考になった。
- 各論段階での突っ込んだ提案（意見）がやや乏しいのが残念。
- テーマの想定項目を具体的に示してもらい、意識を共有化することができてよかった。
- テーマ別の議論もよいが、各回のテーマにつながる「教育」「世代」「コミュニケーション」など横軸の討議も必要かもしれない。
- この志の高いメンバーを中心に今後も何か活動ができれば楽しいと思った。
- 「農」の振興（食の安全）については、気軽に農業ボランティアが経験できるような就農の動機づけをうまくすれば、若者の就農も増えるのではないかと。
- グループ内で活発な意見が出ることが望ましい。他のグループの発表を聞いたあとで、グループ内でふりかえる時間があったらよいのでは。
- 防災に関してあまり話が広がらなかった。
- ワークショップの意見がしっかりと行政に伝わるといいと思った。
- 第7・8回は総括になると思うが、このワークショップをどのようにまとめていくのか説明してほしい。また、統括前に各回でまとめた資料を提出してほしい。
- 災害時の被災者の受け入れなどについて積極策があれば、中核市としての矜持も確立できるのではないかと。

【編集・発行】枚方市 政策企画部企画課

TEL : 841-1221 FAX : 846-5341

Email : kikaku@city.hirakata.osaka.jp